

熊本県立豊野少年自然の家 指定管理者 平成28年度 管理運営評価票

所管部課：教育庁教育総務局 社会教育課

I 施設の管理概要

指定管理者名	ひとづくりくまもとネット・三勢共同体
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日
施設概要	1 所在 宇城市豊野町山崎1775 2 施設 宿泊棟、プレイホール、キャンプ場等 3 目的 本施設は、健全な青少年の育成と県民の生涯学習の振興を目的として設置された県立の青少年教育施設である。宿泊施設及び各種の体験活動のための施設・設備を活用して、利用団体による自主的な研修利用のほかに、自然や季節の特徴を生かした教育的プログラムとして企画事業を実施している。自然の中での体験活動が中心であるため、特に利用者の安全確保に留意して運営している。
指定管理料	300,255,186円（4施設合計、利用料金制）

II 管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
研修者延べ数	25,217人	30,458人	前年度実績31,778人
研修活動中の事故の有無	0件	0件	軽傷を除く

【点検・調査結果及び評価】

熊本地震後、4月から6月にかけて避難者や救援団体を受け入れたこと、大量のキャンセルが発生したこと等から前半の利用者は大きく減じたが、保育園・幼稚園を対象とした計画的な広報活動の成果や9月以降の熊本市内の学校利用で、研修者延べ数で前年度比95%を確保。目標数値を大きく上回る研修者延べ数を維持したことは大いに評価できる。

県教育委員会としては特に利用者の安全確保を重視して指定管理者に指導を行ってきたところであり、今後も引き続き活動中に重大事故が発生しないよう取り組んでいただきたい。

2 管理業務実施状況

① 施設維持管理業務実績

作業項目	業務内容	実施回数	備考
清掃	所内清掃	通年実施	
保安・警備	宿直業務	通年実施	
	ボイラー運転監視	通年実施	
保守点検	自家用電気工作物保安業務	月1回実施	専門業者に委託して実施
	昇降機設備点検	月1回実施	専門業者に委託して実施
	消防設備点検	年2回実施	専門業者に委託して実施
	地下タンク漏洩検査	年1回実施	専門業者に委託して実施
	給湯用ボイラー点検	年2回実施	専門業者に委託して実施
	害虫駆除	年1回実施	専門業者に委託して実施
	貯水槽清掃	年1回実施	専門業者に委託して実施
	水質検査	年2回実施	専門業者に委託して実施
	浄化槽点検	月4回実施	専門業者に委託して実施
	自家発電設備点検	年2回実施	専門業者に委託して実施
	アスレチック設備点検	年1回実施	専門業者に委託して実施
	塩素滅菌設備点検	月1回実施	専門業者に委託して実施
	浄化槽法定検査	年1回実施	専門業者に委託して実施
	防犯カメラ監視	月1回実施	専門業者に委託して実施

水質検査（残留塩素）	週 1 回実施
建築設備点検	年 1 回実施

【点検・調査結果及び評価】

施設設備の清掃、保安・警備及び点検等については、仕様書のとおり専門業者が実施するなど回数・内容ともに水準を満たしており良好である。

② 運営事業実績

〔主な事業・イベント〕

事業・イベント名	開催日時	参加者数	内 容
とよドン家パーク	4月1日～3日	27人	子ども達が自然の中でのびのびと遊ぶことが出来る場と機会を提供し、自然の家を身近な施設と感じてもらう。
森のようちえん もくもく	5月21日～3月11日 年10回実施	延べ298人	様々な自然体験活動や地域の方々との交流をとおして、乳幼児期の子どもたちの豊かな感覚と感性を育てる。
とよママネイチャークラブ①	7月3日	20人	自然を五感で感じながら過ごすことで、心も体もリフレッシュするとともに、参加者同士の交流を図る。
おやこの夏休み	7月23日～24日	39人	様々な体験活動や家族でのキャンプ活動をとおして季節感を味わうとともに、家族の絆を深める。
とよドン家パーク夏編	7月25日～31日	337人	子ども達が自然の中でのびのびと遊ぶことが出来る場と機会を提供し、自然の家を身近な施設と感じてもらう。
とよドン家サマースクール	8月15日～19日	64人	集中し学習に取り組む機会と、自然豊かな環境で遊べる場所を提供し、何事にも一所懸命取り組む態度を育てる。
干潟どろんこ観察会	9月17日	34人	干潟に棲む生物の観察や干潟に足をいれる体験を通して、干潟の生物の多様性や水質浄化作用について理解する。
とよドン家げんキッズキャンプ	10月9日～10日	30人	様々な体験活動をとおして、仲間と協力する大切さを学ぶとともに、強くたくましい精神を育てる。
ふれあいHOME①②③	11月1日～12月2日 年3回実施	10人	自然体験や生活体験を行い日常の生活リズムを取り戻し、多くの人たちとふれあいコミュニケーション能力を養う。
とよママネイチャークラブ②	11月6日	29人	自然を五感で感じながら過ごすことで、心も体もリフレッシュするとともに、参加者同士の交流を図る。
とよドン家パーク秋編	11月25日～27日	42人	子ども達が自然の中でのびのびと遊ぶことが出来る場と機会を提供し、自然の家を身近な施設と感じてもらう。
どんぐりクエスト2016	10月1日～11月30日	297人	利用団体がより自然とふれあう機会を創造するとともに、自然への好奇心や探究心を育む。
おとなキャンパー養成塾	12月6日	42人	体験活動の重要性や指導法を学び、野外活動の推進を図るとともに、災害時に活かすための知識・技能も習得する。
とよドン家パーク冬編	1月21日～22日	139人	子ども達が自然の中でのびのびと遊ぶことが出来る場と機会を提供し、自然の家を身近な施設と感じてもらう。
風の子こんこ寒かけん良かと隊	1月28日～29日	30人	冬ならではの体験活動をとおして、冬の良さを味わうとともに、厳しい環境にも負けない忍耐力を養う。
防災通学合宿（当尾小学校編）	2月8日～11日	18人	避難所と仮定した自然の家から通学し、防災の意識を高めるとともに、災害時に積極的に活動できる人材を育成する。
防災通学合宿（豊野小学校編）	2月14日～18日	21人	避難所と仮定した自然の家から通学し、防災の意識を高めるとともに、災害時に積極的に活動できる人材を育成する。
Toyo's キッチン	2月12日	33人	野外調理をとおして、知識や技術を学ぶことにより野外活動への興味・関心を高める。
とよのワンダフルDAY	3月5日	1,056人	地元住民、団体に参加してもらい、自然の家への理解と利用促進を図るとともに、施設と地域の連携を深める。
とよドン家パーク春編	3月25日～26日	3人	子ども達が自然の中でのびのびと遊ぶことが出来る場と機会を提供し、自然の家を身近な施設と感じてもらう。

【点検・調査結果及び評価】

企画事業については、熊本地震の影響で3事業が中止になったものの、新たに「とよドン家パーク」を年4回実施する等により、参加者実数で対前年度比128%を確保したことは評価できる。また、アンケートも、事業ごとに内容を検討しながら作成し、事業後の分析まで含め次年度に活かせるものとしている点も好ましい。今後の更なる充実に期待する。

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
本館	開館日数	359 日	360 日	
	宿泊可能日数	358 日	359 日	
	利用日数	266 日	253 日	105.1 %
	利用率	74 %	70 %	105.4 %
	利用者実数	10,443 人	10,669 人	97.9 %
	利用者延べ数	19,329 人	20,663 人	93.5 %
キャンプ場	開館日数	359 日	360 日	
	宿泊可能日数	358 日	359 日	
	利用日数	17 日	23 日	73.9 %
	利用率	4.7 %	6.4 %	74.1 %
	利用者実数	165 人	270 人	61.1 %
	利用者延べ数	361 人	670 人	53.9 %
出前講座等	利用者実数	10,768 人	10,445 人	103.1 %
【点検・調査結果及び評価】				
熊本地震の影響がある中で、広報3ヶ年計画の2年目のターゲットである保育園・幼稚園を中心とした広報活動を遂行すること等により、利用者延べ数の減少を7%に留めている。他施設でも、これを参考に同様の取組みがなされること期待する。				

4 管理経費の収支状況

① 収入		内 訳	金額(円)
利用料金収入	本館	一般2,053人、高校生以下7,412人、就学前の者287人	3,258,680円
	キャンプ場	一般44人、高校生以下222人、就学前の者0人	23,410円
	宿泊を伴わない利用	一般965人、高校生以下466人、就学前の者248人	149,000円
指定管理料		※指定管理者による本施設への振り分け	58,848,000円
企画事業等収入		20事業	740,500円
その他活動収入(出前講座等)		出前講座131団体	530,850円
プログラム活動費関係			405,050円
食事代			13,384,494円
シーツ等クリーニング代			813,545円
雑費			448,188円
合 計			78,601,717円
		収入未済額	0円
		うち利用料金収入分	—

② 支出		内 訳	金額(円)
人件費			46,372,745円
施設運営費	旅費、管理費、活動プログラム費等		9,835,368円
維持管理費	光熱水費、業務委託費、施設修繕費		24,600,389円
企画事業費			611,317円
合計			81,419,819円
【点検・調査結果及び評価】			
利用料金収入については適正に収納され、指定管理料と併せて管理運営に必要な支出に適切に運用されており、概ね良好である。			

5 利用者調査結果

調査実施内容	調査年月日	平成28年4月1日～平成29年3月31日											
	調査方法	全ての利用者団体にアンケート調査を実施											
	調査対象数	138団体											
調査結果	調査分野	回 答 内 容											
		とてもよい	よい		普通		あまりよくない		悪い		無回答		
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	集団生活を学ぶ場	99	71.7	30	21.7	4	2.9	0	0.0	0	0.0	5	3.6
	活動内容	90	65.2	34	24.6	7	5.1	0	0.0	0	0.0	7	5.1
	職員の受入れ対応	113	81.9	17	12.3	3	2.2	2	1.4	0	0.0	3	2.2
	職員の指導・助言	112	81.2	22	16	3	2.2	1	0.7	0	0.0	0	0.0
	食堂スタッフの対応	70	50.7	34	25	8	5.8	1	0.7	0	0.0	25	18.1
	食事の質	56	40.6	44	32	15	10.9	0	0.0	0	0.0	23	16.7
	食事の量	58	42.0	39	28	16	11.6	1	0.7	0	0.0	24	17.4
	屋内の施設・環境	78	56.5	41	30	13	9.4	2	1.4	0	0.0	4	2.9
屋外の施設・環境	63	45.7	44	32	17	12.3	1	0.7	0	0.0	13	9.4	
また利用したいか	ぜひ			機会があれば				利用しない		無回答			
	95	68.8			41	29.7			1	0.0	1	0.7	
利用者からの意見等	特になし												
【調査結果及び評価】 調査結果では、ほぼ全ての項目で「非常によい」と回答した割合が前年比で減少、特に「食堂スタッフの対応」「食事の量」の評価が低下している。熊本地震の影響も考えられるが、今後のアンケートの回答を注視し、問題点の分析及び対応が必要。													

6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
キャンプ場炊飯棟の作る場所、食べる場所が狭い	大規模な団体には現状を説明し、十分理解のうえ利用していただくよう周知徹底した。
【調査結果及び評価】 意見・苦情等に対しては適切に対応しており、概ね良好である。	

7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
アンケート結果の「ぜひ利用したい」との回答が少ない点の分析と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設は、部活動やスポーツクラブの合宿利用が多く、大会や練習試合で県外からも多くの利用者が訪れる。このため「機会があれば」との意見が非常に多い。(分析) ・チームワークや課題解決能力を高めるプログラム開発を行い、利便性だけでなく内容での評価を伸ばす工夫に力をいれる。(対応)
食事の質と量	<ul style="list-style-type: none"> ・質については、毎月の安全衛生委員会や利用者アンケートなどを活用し、情報を共有しながら改善に努めたが、評価の改善までには至っていない。 ・量については、夕食メニューを見直し、子ども達が食べやすいものを提供したり、追加注文を受け付けるなど、事前連絡・相談の徹底に努めた。
【調査結果及び評価】 指摘事項に対する取組は概ね評価できる。今後「是非利用したい」と思ってもらえるような企画提供に期待するが、今回も評価の低かった食事の質・量については、他施設との情報交換等を踏まえ、現状の分析と更なる改善や工夫に取組む必要がある。	

8 その他

特になし